

申込内容

■事業の概要

花壇の世話をする上で、道具や水やりホースなどがいります。より多くの人にかかわってもらえれば、それらを共有する倉庫がいります。住民に呼びかける看板も必要です。一部の柵の修理も必要です。

■目的

景観水路を地域住民が、自分の住む地域を愛し、誇りにし、地域住民の憩いの場にするため、豊中市から花壇の管理を任された花壇の世話を住民と共に花壇の世話をします。

■ 交付決定額 26,000 円

(事業予算 75,640 円)



12月8日の土曜日。庄内栄町にある景観水路では、サークルの人たちによって春に向けた花壇の整備が行われていました。この日、集まって作業をしていたのは12人。永楽荘など市内の遠方から来られている方もいました。参加の動機を聞くと「健康を維持するため」、「花が好きだから」、「誘われたから」と様々です。「作業は、その日に参加できる人だけが集まる仕組みなので、気楽に続けることができる」という声がありました。

ここの景観水路は、絶好の散歩コースで、朝から多くの人が行き交います。サークルの活動によって花壇が整備されるようになり、通行する多くの人たちの目を楽しませています。立ち止まって、作業をしている人に花のことについて声をかける人もいます。

今年は助成金で活動に必要な備品を購入できて作業がしやすくなり、活動への参加者が増えました。また、花の説明を表示したことで立ち止まる人もさらに増えたと代表の坂野文明さんが言っていました。

一年を通して行う花壇の整備は、自然相手の作業で試行錯誤です。この日、春に向けてマーガレットの花摘みと同時にチューリップの球根を埋めていました。今後も、花壇を中心に、多くの人との交流が生まれそうです。



◎リンク

[▼平成23年度助成事業『島田花ふれあいサークル』の活動紹介](#)

活動紹介へ

もどる